

次の五年を目標して —さらなる会の発展のために—

県央経営者会会長 大泉 政治



明 けましておめでとうございます。会員の皆様には、穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は大きな地殻変動ともいえるべき政権交代が行われました。また、経済界は世界的な大不況の嵐が吹き荒れています。本年はさらに二番底ともいわれる不況が心配されており、会員の皆様も経営のかじ取りが大変な状況にあると思いますが、このような時だからこそロマンをもって、希望を捨てずに頑張っていきたいと思えます。

昨年は、創立5周年記念事業の一環として、県央経営者会のまちづくり構想である、「県央湘南アクアシティ構想」の確立のための第一段階ともいえるべき、「県央湘南未来都市 アイデアコンテスト」の開催をいたしました。こ



の「アイデアコンテスト」は、相模川の流域を中心とした県央湘南地域の市民の皆様のまちづくりに対するアイデアを募集して、われわれの活動に生かしていこうと考えたものです。結果は、56作品ものアイデアが集まり、優秀賞として10作品を選びました。内容については、すでに「受賞作品集」等でご存知かと思いますが、これらのアイデアは第二段階ともいえるべき設計コンペの良い材料として使わせていただきたいと考えております。

このように相模川を中心としたいろいろなアイデアの中には、川の堤をサイクリングロードにしたとか、何千本もの桜を植えたとかというアイデアもあり、すでに我々が取り組んでいるものもありました。やはり、この地域に住んでいる方たちは皆同じように相模川を愛し、郷土を明るくするための知恵をいろいろと持っていることを強く感じさせられました。

また、8月には第22回の例会として「ビジネス情報交換会」と銘打って、会員同士の専門知識を出し合い、お互いの仕事をコラボレートして、利益に結び付けられないかという、一つの試みをいたしました。また、これまで顔は見知っていても、何の仕事をしているの

か分らなかつた者同士が、初めてその仕事内容を知りあい、そのことによって、いっそう懇親が深まったと感じております。いずれにしても、このような試みはこれからも開催していく意義があると考えますので、なお一層の研究をしてよりよい例会に発展することを願っております。

このように、昨年の活動は相模川を中心とした地域の活動といった感じが強く、この流域から外れる地域の方たちにはあまり興味がわかないテーマではなかったかと危惧いたしております。そこで、本年はできるだけ厚木以外の地域でイベントを開催し、各地域がそのイベントの中心になって活動できるように考えていきたいと思います。会員の皆様には、ぜひいろいろなイベントの企画を出していただくことをお願いいたします。

以上のように、県央経営者会は県央地域の経済発展のため、会員の皆様と協力して、この苦難の年も明るい未来を見据えた活動を展開していきたいと思えます。会員の皆様のさらなる発展とご健康を願いつつ、本年初頭のご挨拶とさせていただきます。

創立5周年記念公開例会・県央湘南未来都市 「アイデアコンテスト」発表大会開催される

■ 日 時 平成21年11月8日(日) 午後1時から4時
 ■ 会 場 ロワジールホテル厚木 3階 相模の間



すでに新聞の報道などでご存知のように、本年7月21日に募集を開始いたしました「アイデアコンテスト」は、11月8日の発表大会を持って一応の完結を見ました。当初は集まるかどうか心配していましたが、いざふたを開けてみたら、56件ものアイデアが集まりました。このアイデアの中から10点の優秀なアイデアを実行委員会で選定し、発表会当日はその10点のプレゼンテーションによってグランプリを決定いたしました(表1参照)。

グランプリに輝いたのは、井上敏夫氏の「県央の未来をひらく三川ループ橋」というアイデアで、相模川をはさんだ厚木市と海老名市を結ぶ橋が少ないため慢性化している交通の渋滞解消策とともに、未来の都市機能を十分に発揮させることをループ橋に託した、卓越したアイデアとの評価を得ました。

準グランプリの北村純一氏のアイデアは「県央湘南新都市構想」と題し、相模川を中心とした県央湘南地域に生活する人たちが、相模川の恩恵を受けてこころ豊かに暮らせるようなアイデアと全国からも沢山のお客様に来ていただくための仕掛けが「地域コミュニケーション構想」であるとして、15のアイデアを披露されました。この他にも、それぞれのアイデアの中にはグランプリや準グランプリにも引けを取らない面白いアイデアや楽しいアイデアがいっぱい発表され、1時間40分にわたるプレゼンテーションに、聴衆の皆さんは時間を忘れて聞き入っていました。

表 1

賞	タイトル	発表者
グランプリ	県央の未来をひらく三川ループ橋	井上 敏夫
準グランプリ	県央湘南新都市構想	北村 純一
審査員特別賞	相模川大運河計画	井 浩二
審査員特別賞	川に浮かぶ3つのパノラマ花火	高橋 春香
優秀賞	水の上の「いこい橋」	青木 里美
優秀賞	木と花の道 散歩ロード	小川 巳佐子・小野沢 秀子
優秀賞	県央地域全体での街づくり	中村 善成
優秀賞	相模川の自然と共生し、子供の声が響き、活気にあふれる県央湘南未来都市	鈴木 伸
優秀賞	首都圏のサテライトオアシス(自然と生活)	平野 淳
優秀賞	ヘリポートの開設	浦上 昭一

今後のアイデアの実現に期待する

東京工芸大学 学長 若尾 真一郎



今回の「相模川を軸とした県央湘南未来都市 アイデアコンテスト」は、初めての試みであったにもかかわらず、大変多くの方から応募があり、県央湘南地域の発展への関心の高さを伺うことができました。

アイデアはスケールの大きいもの、豊かな市民生活の実現のためのもの、それぞれの年齢や立場などから生まれたものなど幅広く多種多様であり、様々な角度からのアイデアを楽しく審査させていただきました。

グランプリは、相模川の三川合流地点にループ橋を架け、東西南北の交通を集め目的地に誘導することで交通渋滞を緩和するという提案でした。時間の創出、豊かな生活と活性化にも結び付くことが期待でき、本コンテストの趣旨に大変マッチしたアイデアであったと思います。私自身も大変興味深く拝見いたしました。今後はアイデアの実現に向けての取組が課題であると思います。少しでも実現化できるよう進めていただき、県央湘南地域がよりよく住みやすい未来都市に発展することを期待しております。

地域活性化のためのアイデアを

今後につなげる努力を！

神奈川工科大学教授
創造工学部ロボット・メカトロニクス学科

山本 圭治郎



「県央湘南未来都市アイデアコンテスト」の受賞作品には、利便性を求めた交通網整備、魅力ある都市空間、川に代表される自然を生かした癒し空間や自然エ

した。いずれも公共事業的なものではありませんが、自然環境・自然エネルギーに配慮されたものでした。その他の応募作品には、ロボット開発、放送局開設、グ

ルメによる地域の活性化など、地区の未来を拓くために有効なアイデアがありました。

市民の発想で創るまちづくりの時代

産業能率大学 情報マネジメント学部教授

斎藤 進



今回の「相模川を中心とした県央湘南未来都市「アイデアコンテスト」に市民から56のまちづくり提案が寄せられました。こうした応募数からみても、県央湘南に在住・在勤する市民は、この地域のまちづくりへの思いや関心が非常に高いことがわかります。

この場合、市民の地域まちづくりへのこうした思いや取り組みを「地域力」とすれば、56提案に込められた市民エネルギーの強さを改めて感じています。そこには市民発想の多様性と豊かさ、地域資源としての河川環境（相模川）の再評価・再確認、地域環境から都市環境そして地球環境につながる環境重視の視点が鮮明に示されています。

また多くの提案は、この地域の自然環境、歴史的背景、日々の生活特性を踏まえ、市民ならではの問題発見とその課題解決を目指す中長期の地域ビジョンを提示しており、そこに市民独自の資源発見・活用力とまちづくり提案力を再確認することができます。こうした提案の多くを見ると、環境との共生を第一

に訴え、更に地域への関心・こだわりが極めて高く、更に地域の将来を自ら主体となって考え行動・実践しようとする姿勢が強くみられます。

本会においては、こうした市民発想による「地域力」を最大限活かしながら、県央湘南地域のまちづくり将来像の具体化へ向けた協議を更に期待する次第です。

県央湘南未来都市「アイデアコンテスト」発表大会を終わって

県央湘南未来都市「アイデアコンテスト」

実行委員会 委員長 増田 健治



さる11月8日（日）に開催されました、標記「アイデアコンテスト」は、一般の市民の皆様から56もの素晴らしいアイデアをいただき、大変感謝いたしております。この中から優秀作10作品を選定し、当日発表していただいたものを専門家による厳正なる審査によって、グランプリ賞、準グランプリ賞、審査員特別賞2件の合計4点を選定させていただきました。これらのアイデアは、我々の街づくりの基本構想の中にできる限り取り入れ、さらに専門家による都市設計コンペに図っていきたいと考えております。今回の「アイデアコンテスト」は、会員の皆様はじめ多くの外部の方々、とりわけ困難な最終審査をお願いしました先生方にはあらためて厚くお礼申し上げます。また、発表大会に向けて自分のアイデアのブラッシュアップに心血を注いでいただいた、10名の発表者の方々には感謝してもしきれないほどの気持ちでいっぱいです。今後とも、われわれ県央経営者会の活動に御支援御協力をよろしくお願い申し上げます。



県央湘南未来都市「アイデアコンテスト」応募全作品名

No	作品タイトル	氏名	備考
1	エコでレトロないせはら観光	吉 種 孝 紘	
2	相模川線	鈴 木 剛 史	
3	水力発電所	八 田 順	
4	丹沢温泉モノレールラインの運行による丹沢温泉地の活性化	千 葉 清 樹	
5	I. 本厚木駅周辺ゆめふくらんど構想	北 村 純 一	
6	II. 県央湘南新都市構想	〃	準グランプリ
7	道路の路肩を二本の白線で自転車道を	引 田 達 夫	
8	交通信号システムの改良で地域活性を	〃	
9	駅に自転車ステーションを設ける	〃	
10	フロー型水力発電システム	大 橋 真 龍	
11	道州制導入による「行政主要施設・道州庁舎」を県央湘南地域へ	古 座 野 茂 夫	
12	県央湘南未来都市への情報を発信する「(仮称)FM県央(ラジオ局)」の開設	〃	
13	地域振興に寄与する「特急バス」の運行と鉄道・拠点駅ツアー観光の創設	〃	
14	交通便利性向上のアイデアについて	白 石 憲 二	
15	地域経済の活性化に向けたアイデアについて	〃	
16	県央の未来をひらく三川ループ橋	井 上 敏 夫	グランプリ
17	相模川の自然と共生し、子供の声や響き、活気にあふれる県央湘南未来都市	鈴 木 伸	優秀賞
18	合従連衡による政令指定都市化、首都圏中核都市化	平 野 淳	
19	首都圏のサテライトオアシス(自然と生活)	〃	優秀賞
20	相模川縦断エコ&観光街道化	〃	
21	相模川リバー・カレッジ	高 橋 信 子	
22	「相模川湘南オアシス」のエリア開発計画	落 合 正 己	
23	木と花の道 散歩ロード	小 川 巳 佐 子・小 野 沢 秀 子	優秀賞
24	江ノ電や都電のような電車を走らせ、駅長は公募する	土 谷 道 代	
25	みんなの木、みんなの花、みんなのいす	〃	
26	なんでもコンテスト・腕自慢	〃	
27	ヘリポートの開設	浦 上 昭 一	優秀賞
28	相模川ソーラー発電計画	会 田 俊 彦	
29	日本唯一の常設マラソンコースで相模川をマラソンランナーのメッカに!	〃	
30	神奈川セントラルライン構想	松 沢 康 弘	
31	相模川の両岸に人のみ歩く道・自転車のみ走る道をつくる	北 村 佳 与 子	
32	県央地域全体での街づくり	中 村 善 成	優秀賞
33	相模川沿いのサイクリングロード	石 原 美 幸	
34	グルメロード県央	〃	
35	つながるみちーサイクル・リンク・ロード	中 條 鈴	
36	水の上の「いこい橋」	青 木 里 美	審査員特別賞
37	川に浮かぶ3つのパノラマ花火	高 橋 春 香	優秀賞
38	“細工リング”プロジェクト	佐 藤 美 保 子	
39	厚木ECO体験科学館	島 田 竜 祐	
40	遊水都市(ゆとりあるエコロジーな都市)	岸 野 義 人	
41	神奈川発信「アウトドアスタイル!」	刈 谷 由 季	
42	県央活性化	中 野 幸 雄	
43	厚木発 世界のかけ橋 コスプレラ・ト・マナバザー	富 張 裕 子	
44	湘南フレンドブリッジ	小 林 信 之	
45	821県央ノンビリバー	木 下 千 恵 美	
46	ドリーム ドライビング スクール	〃	
47	自然派テーマパーク 相模川ふれあいMASSYO(ましよう)	秋 穂 和 男	
48	ツインシティを中心とした県央湘南エリアの交通網の整備	野 田 浩 司	
49	ツインシティから都心直通特急を!	諸 井 敬 嘉	
50	KAWA	田 村 新 吾	
51	相模川大運河計画	井 浩 二	審査員特別賞
52	ロボット研究開発拠点都市を目指して	〃	
53	相模川水中遊歩道	熊 野 優 也	
54	相模川水上カジノ計画	富 田 聡	
55	県央地区を中心に交通整備	小 寺 沢 賢 太 郎	
56	公共機関のシームレス化	柿 沢 孝 勇	

第24回例会「アイデアの実現化」検討会開催される

■日時 平成21年12月7日(月) 午後6時から8時
 ■場所 厚木商工会議所 5階大会議室



今回の例会は、11月18日に開催されました。県中央南未来都市「アイデアコンテスト」においてグランプリ、準グランプリ、審査員特別賞に輝いた3点を取り上げ、これらアイデアが「県中央南アクアシティ構想」にどう取り入れていられるかを検討いたしました。司会は、井上 武会員が務め、大泉 秀治会員が開会を宣言しました。

次に大泉会長のあいさつに続き、吉村 保典会員から本日の趣旨説明がありました。

まず、井上敏夫氏が「県中央の未来をひらく三川ループ橋」を、北村純一氏が「県中央南新都市構想」を、井 浩二氏が「相模川大運河計画」のうちの「ロボット開発拠点都市」に焦点を絞り発表していただきました。これら3点のアイデアは、すでに公開例会でも発表されたものでしたが、3名の方々には再度の発表をお願いいたしました。そして、この発表を受けて3チームに出席者が分かれて、その実現化に向けた討論を行いました。また、第4のチームとして秦野・伊勢原の会員による、これからの地区活性化のための施策について検討していただきました。4チームの検討結果は、以下のようになりました。

①井上チーム・前角 典男会員発表

井上氏のアイデアは相当練られたもので、会員同士のアイデアを出し合うようなところまで行く前に、このアイデアの疑問点を明らかにすることで終了した。はつきりしたことは、実現性の確度はかなり高いこと。工事費が約1200億円と見込まれるが、これは近隣市町村と県・国の折半で負担しなければならぬ。これから20年くらいの期間を要すると思われるが、技術者育成なども波及効果として考えられるなど、かなり周りの効果が期待されることが重要である。

②北村チーム・大泉 秀治会員発表

このチームでは、他のアイデアに比べてかなり早期の実現が可能なアイデアを考えた。それは、相模川の堰堤にバラの苗木を植える、そのことによつていろいろなイベントが発生するだろう。例えばリバーバスによつて鑑賞する会や、バラの花の盛りにロックコンサートを開いたり、屋台を出したりして盛り上げ、町おこしにつなげられる。また、バラの苗木は市民の方々にプレゼントして、市民の方に育てていただく。これによつて管理の手間が分散されて効果が図られる。

③井チーム・栗田 成裕会員発表

介護ロボットの開発は明日からでも実現化が求められる、具体的問題であること。神奈川県工科大学で試作しているものを、いかに実用化するかが問題で、これには東大阪市の中小企業が打ち上げた「まいど1号」というロボットのように、県中央地域の技術を結集してこの介護ロボットを実現化することを目指したい。

④秦野・伊勢原チーム・福森 登会員

われわれの孫の時代に何を残すことができるかを検討した。これには、すでに会発足の当初から取り組んでいる、小田急線と相鉄線の相互乗り入れをめざして、まず横浜から箱根へロマンスカーを通すこと。また、秦野の人口17万人の人へ、一人一本の杏の樹をプレゼントして植えていただき、秦野を杏の里にする。これは来年の全国植樹祭が行われる際の大きなイベントになるだろう。このようなことに取り組みながら、秦野・伊勢原地区の活性化を図っていききたい。

〈総評〉大泉 政治会長

このような短い時間で、会員の皆さんから実現できそうなアイデアをいただき感謝します。①のアイデアは、20年かかるものでこれからの研究課題としたい。②のバラの苗木の件は積極的に推進したい。③のロボットは現実的にはどうなのか、試作機を見て協力していきたい。④は秦野方面にも止まる深夜のロマンスカーを走らせる企画を進めたらどうか、また杏の苗木のアイデアは実現しやすいものだと思います。

この総評をもつて例会のメインイベントが終了し、金 俸基会員の閉会の言葉で終了となりました。会員はただちに1階のレストランに移り、懇親会となりましたが、懇親会の司会は小林 伸吾氏が務め、短い時間でしたが大変盛り上がった会となりました。最後は厚生労働大臣賞と県民功労者表彰のダブル受賞をされた、元気がいっぱいの高田 喜八会員による1本締めでお開きとなりました。それにしても今回の例会は、若手の会員の皆さんの大活躍が進めることができました。皆さんありがとうございました。

掲示板 会員の会社紹介

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社もPRしてみたいかがでしょうか！。掲載無料ですので、ご希望の方は事務局までご連絡ください。

何か、お役にたてることがありますか？

—時代に負けない会社運営をサポートします—

- 労働・社会保険手続き 助成金の申請
- 就業規則 メンタルヘルス 労働時間 賃金
- その他人事労務管理に関するお悩みご相談

長谷川小夜子 社会保険労務士事務所

社会保険労務士・FP・
産業カウンセラー

長谷川 小夜子



●お気軽にご連絡下さい

厚木市元町11-6-410

TEL/FAX 223-1807

E-Mail: info@hasegawa-roumu.com



営業品目

- 製鉄原料、非鉄金属類の購入販売
- 一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業務
- 建物解体及び移設、撤去、内装見積り
- 鉄板賃貸販売



その他、お声をかけていただければ
ご相談承ります。

有限会社 上田商事

代表取締役 上田 正吉

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮四丁目7番14号
TEL.0463-54-5302 FAX.0463-55-6394

第5回 懇親ゴルフ大会開催

■日 時：平成21年11月5日

■コース：レイクウッドゴルフクラブ

■参加者：16名

優勝 中山 和男氏、準優勝 朝倉 弘一氏、
3位 松高 史明氏

今回の大会は、10月に予定していた日にちょうど台風が関東地方を直撃したため、1カ月順延となり、その結果参加者が予想以上に減少してしまいました。4組でのさびしいコンペではありましたが、この日は絶好のゴルフ日和となり、かえって和気あいあいとした楽しい会となりました。



事務局便り

○次回例会のご案内

県央経営者会創立5周年記念例会「新春のつどい」

平成22年2月8日(月) 午後6時より

ロワジールホテル厚木 3階 相模の間

県央経営者会創立5周年を記念して、今までの活動を振り返り、さらにこれからの県央地域の発展のために寄与できることは何かを考え、そのことを内外に発信していくための良い機会ととらえ、会員全員参加でお祝いする例会になることを目指します。

○県央経営者会ホームページ開設のお知らせ
すでにお知らせいたしましたように、県央経営者会のホームページが開設されましたので、会の活動会からのお知らせ等の確認にぜひご覧ください。
<http://www.kenou-k.jp>

県央経営者会事務局

〒243-0017 厚木市栄町1-16-15
厚木商工会議所 403号
電話 046-296-7010